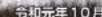


蘇阿驛之道



ASO田園空間博物館とは

～ 阿蘇の魅力が発見できる「屋根のない博物館」～

ASO田園空間博物館とは、地域全体を屋根のない大きな博物館に見立てて、地域住民が選んだオススメスポット（サテライト・地域資源）を展示物とし、地域の持つ自然、景観、歴史、文化を多くの人に伝え、体感していただき、次世代に継承していく取り組みです。

総合案内所(道の駅「阿蘇」) [コア施設]

田園空間博物館の情報発信交流拠点
基地として、各地域の情報を集め
発信していく施設。

サテライト(地域資源)

阿蘇市の自然、伝統、文化、ひとなど、
くらしの中で生まれてきた田園空間を
形成する有形・無形の地域資源。

ASO田園空間博物館・道の駅「阿蘇」のあゆみ

平成11年	旧阿蘇町が農水省の田園空間整備事業に採択される。地域住民を主体とした取り組みが始まる。
平成16年12月	ASO田園空間博物館準備会を設立。
平成17年2月11日	町村合併により阿蘇市誕生。活動範囲が旧一の宮町、旧波野村まで広がる。
平成17年4月17日	住民主体による任意団体ASO田園空間博物館を設立。
平成17年4月23日	ASO田園空間博物館総合案内所（コア施設）をJR阿蘇駅前に落成。
平成18年	地域住民を主体とした地域づくりへの取り組みが活発となる。
平成18年8月3日	NPO法人ASO田園空間博物館となる。
平成19年3月	全国水土里ネットにて「農林水産大臣賞」を受賞。
平成20年6月1日	道の駅「阿蘇」がオープン。総合案内所への来館者が増加。
平成23年7月	地域散策イベント「阿蘇市をさるこう！」イベント回数 100回 突破。
平成24年4月	阿蘇市からASO田園空間博物館総合案内所の指定管理を受ける。 九州じゃらん「九州・山口道の駅ランキング」で情報提供部門1位、テイクアウトグルメ部門2位、総合6位となる。
平成25年7月	九州・沖縄道の駅連絡会にて九州沖縄「道の駅」最優秀賞受賞。無料で利用できる電源供給設備・給水場を設置。
平成25年12月	日産エコカー普及事業にて県内道の駅で唯一電気自動車リーフの寄贈を受ける。
平成27年3月	日本政府観光局より、外国人観光案内所カテゴリー2の認定を受ける。
平成27年6月	トリップアドバイザー「2015年エクセレンス認証」
平成27年7月	道の駅阿蘇館内にASOプレミアムコーナーと特産品コンシェルジュが誕生。
平成28年1月27日	国土交通省より「重点道の駅」に選定される。
平成28年4月	熊本地震発生。阿蘇地域が多大な被害を受ける。
平成28年7月	九州・沖縄道の駅連絡会より、熊本地震後に支援物資や情報発信などを通じ復興に向けた主導的役割を果たしたとして表彰を受ける。
平成29年11月	内閣官房・農林水産省「第4回ディスカバー農山漁村(むら)の宝」グランプリ受賞
平成30年2月	「JAF会員が選ぶ！イチオシ道の駅グランプリ2017」熊本県1位受賞。(3年連続受賞)
平成30年9月	道の駅阿蘇 来館者数1,000万人達成
平成30年9月	トリップアドバイザー「旅好きの口コミで選ぶ！道の駅ランキング2018」で全国5位
平成31年2月	農林水産省・全国地産地消推進協議会主催「平成30年度地産地消等優良活動表彰」九州農政局長賞受賞
令和元年5月	地域散策イベント「阿蘇市をさるこう！」イベント回数 200回 突破。

受賞歴

- 平成19年 「農林水産大臣賞」
- 平成25年 「九州・沖縄『道の駅』最優秀賞」
- 平成27年 トリップアドバイザー「2015年エクセレンス認証」
- 平成27年 「JAF会員が選ぶ！イチオシ道の駅」 熊本県1位
- 平成28年 国交省「重点道の駅」選定 （地域活性化の拠点となる優れた企画があり、
今後の重点支援で効果的な取組が期待できる道の駅）
- 平成28年 「九州・沖縄『道の駅』最優秀賞」
- 平成29年 「JAF会員が選ぶ！イチオシ道の駅」 熊本県1位(2年連続)
- 平成29年 トリップアドバイザー「旅好きの口コミで選ぶ！道の駅ランキング」 全国9位
- 平成29年 トリップアドバイザー「2017年エクセレンス認証」
- 平成29年 内閣官房・農水省「第4回ディスカバー農山漁村の宝」 グランプリ
- 平成30年 「JAF会員が選ぶ！イチオシ道の駅」 熊本県1位(3年連続)
- 平成30年 トリップアドバイザー「旅好きの口コミで選ぶ！道の駅ランキング」 全国5位
- 平成30年 トリップアドバイザー「2018年エクセレンス認証」
- 平成31年 農林水産省・全国地産地消推進協議会主催「平成30年度地産地消等優良活動表彰」
九州農政局長賞 受賞

第4回ディスカバー農山漁村(むら)の宝グランプリ受賞

平成29年11月、海外客増加や特産品開発・販売など地域の活性化に貢献したとして、内閣府及び農水省共催の「第4回ディスカバー農山漁村(むら)の宝」において、全国844件もの応募の中から栄えある最優秀賞「グランプリ」に選ばれました。



平成29年11月22日

『第4回ディスカバー農山漁村（むら）の宝』グランプリ受賞

平成30年3月、中国で開催された「大連ジャパンブランド2018」では、農水省のブースにて阿蘇のPRを行いました。



NPO法人 ASO田園空間博物館運営組織図

総 会

理事会

理事長

運営委員会

マネージャー

地域振興グループリーダー

総合企画

サテライト関連
事業・普及啓発
イベント企画運営

総合案内

観光案内、
阿蘇の情報発信
インバウンド関連
事業、語り部事業

地域振興グループ

道の駅グループリーダー

EC事業

ネット販売を通じた
阿蘇の特産品の
情報発信

総務経理

法人全体の
庶務・経理及び人事

施設管理

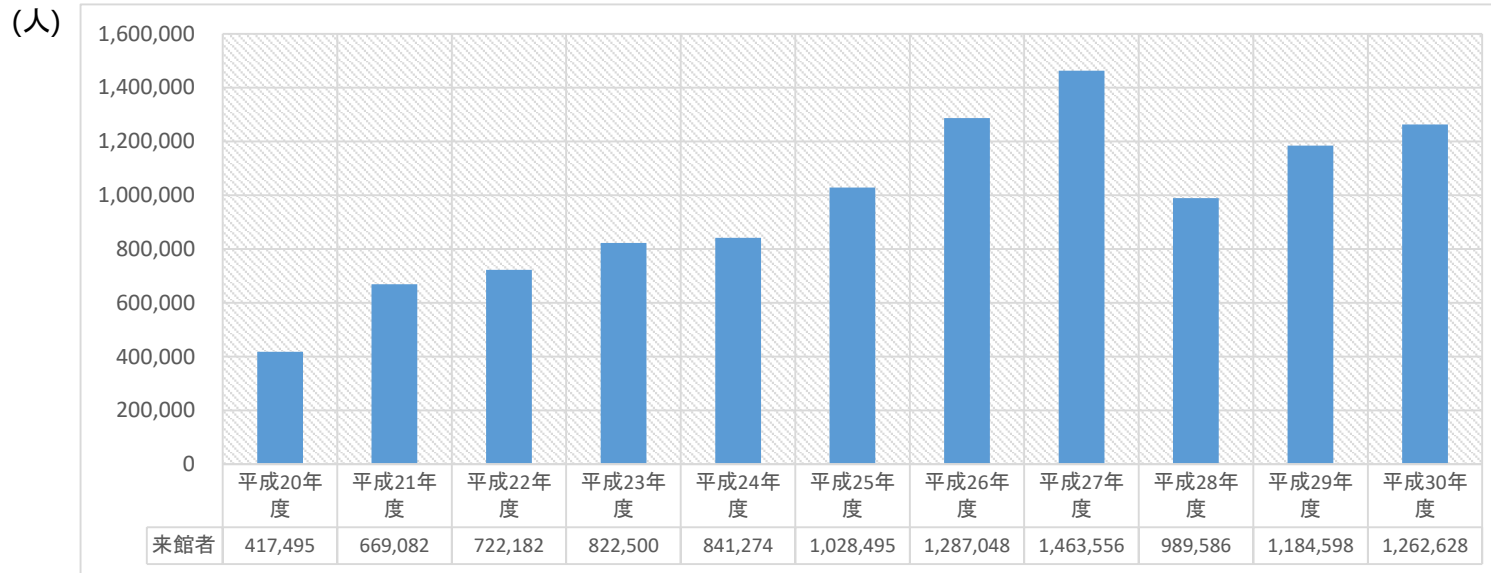
植栽保全、
清掃、設備点検等
施設保守に関する業務

展示販売

阿蘇の特産品の展示
販売・情報発信

道の駅グループ

道の駅「阿蘇」来館者の推移



平成30年度の来館者数
 日本人 1,262,628人
 外国人 2,546人
 (外国人は
 窓口問い合わせ人数)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
4月	5,605	49,608	54,081	62,054	72,907	81,804	102,813	100,941	69,561	98,292	111,981
5月	10,162	76,978	95,171	86,448	105,563	114,285	139,965	151,029	61,650	129,240	128,583
6月	26,601	47,340	45,612	47,829	55,368	57,135	87,567	95,520	54,759	83,331	91,332
7月	37,313	48,397	53,943	68,799	43,557	70,667	103,728	121,977	86,424	93,747	97,671
8月	70,672	87,696	98,223	105,117	82,689	104,145	160,611	178,080	124,131	135,486	149,844
9月	50,152	77,127	73,414	85,871	77,973	87,402	135,861	147,426	102,678	107,025	116,382
10月	52,833	65,271	74,724	88,233	90,627	102,258	122,250	138,885	91,992	107,409	120,738
11月	50,877	61,185	66,916	74,538	81,735	106,572	128,262	130,659	92,925	112,152	116,505
12月	27,094	32,336	40,011	46,530	46,404	63,582	63,864	96,870	75,486	74,622	76,710
1月	29,608	37,419	34,611	48,369	54,699	67,971	70,827	90,336	69,078	72,918	80,574
2月	27,223	34,890	32,832	39,864	50,442	62,188	65,286	84,939	60,612	61,371	69,123
3月	45,122	50,835	52,744	68,853	79,310	107,904	103,518	126,894	100,401	109,005	103,185

道の駅「阿蘇」・ASO田園空間博物館の主な取り組み

1.阿蘇市の地域づくり



2.阿蘇の特産品の展示販売



3.総合案内所での観光案内と情報発信



4.施設の維持管理



「阿蘇市の地域づくり」の主な取り組み



1-1 サテライトの発掘



1-2 サテライト協議会 (地域住民との連携)



1-3 阿蘇市をさるこう！ (地域散策イベント)



1-4 サテライト支援 (地域活動の応援・マップ看板製作等)



1-5 情報誌の製作



1-6 ASO国際交流事業



「阿蘇市の地域づくり」の主な取り組み



1- 7熊本地震語り部事業



1-8 ASO周遊推進支援事業 (とことん満喫！阿蘇サイクリング)



1-9 牧野ガイド事業





1-1 サテライトの発掘

サテライトとは？

サテライト(地域資源・オススメスポット)

阿蘇市にある自然・歴史・文化・ひとなど、くらしの中で生まれてきた
有形・無形の地域資源のことを「サテライト」とよんでいます。

これらサテライトは実際にそれらを守っている地域の方々に
よって選ばれたものです。

ASO田園空間博物館はこのサテライトを次世代に継承していくため、
地域の方々と協力しながら様々な取り組みを行っています。



サテライトとは？

自然系サテライト

[サテライトNo.2] 阿蘇中岳火口



現在も活発な活動が続ける中岳火口。そのダイナミックな光景に人々は魅了されます。地元の人々にとっては古来より信仰の対象でもあります。



サテライトとは？

自然系サテライト

[サテライトNo88] 碧水ホタルの里



ホタルの幼虫放流のようす

ダイナミックな自然だけでなく、地域住民が守り続けている水辺も貴重な地域資源です。
阿蘇市北黒川地区にはホタルが生息する河川があり、地域の有志がホタルの養殖やホタルツアーの開催、環境整備に取り組んでいます。



サテライトとは？

歴史系サテライト

[サテライトNo.51] 阿蘇神社

【H28年震災前】



【H28年震災後】



二千年の歴史を誇る古社で、見事な楼門は日本三大楼門の1つとされていましたが、平成28年4月の熊本地震で倒壊してしまいました。現在は再建に向けて動いています。火振り神事やおんだ祭りなど年間を通して行われる神事は全国的にも有名です。



サテライトとは？

文化系サテライト

[サテライトNo.60] 中江神楽殿



中江岩戸神楽は国選択無形民俗文化財に指定されています。
地元の保存会によって受け継がれている阿蘇の民俗芸能です。

ASO田園空間博物館 サテライト92ヶ所

サテライト
マップ7つの地区部会を
組織しています。



1-2 サテライト協議会

92ヶ所あるサテライトの代表者で構成する協議会です。
7つの地区部会とその役員で組織する役員会があります。(平成23年9月発足)

目的

- サテライト間の交流を深め、互いが協力しながら地域を盛り上げていく。
- サテライト(≡地域住民)の想いをASO田園空間博物館がより把握できるようにするため。

協議会を通じてサテライトに関する各種事業を連携しながら進めています。



サテライト応援事業



案内人研修会



サテライト協議会各種会議

1-3 地域散策イベント「阿蘇市をさるこう！」



交流人口の拡大や知られざる阿蘇の魅力の紹介、
地域コミュニティの維持を目的として実施しています。



受け入れ先の住民が主体となって計画



地域住民が案内



郷土料理のふるまい



心温まるおもてなし



収穫体験、手作り体験など阿蘇ならではの体験





1-4 サテライト支援（地域活動の応援）

地域活性化に向けて取り組んでいるサテライトを応援するため、整備・清掃活動のサポートや案内看板、地域散策マップの製作などを行っています。

また、精力的な活動を行っているサテライトへ「阿蘇づくり大賞」を授与するなど、各地域の活動を盛り上げる仕組みづくりも行っています。



整備・清掃活動のサポート



「阿蘇づくり大賞」の決定



地域散策マップの製作



案内看板の製作

1-5 フリーペーパー（情報誌）の製作



阿蘇の観光PRにつなげるため、観光情報・サテライトや地域団体の取り組み・阿蘇の特産品の紹介など様々な阿蘇の情報を情報誌にまとめ、発信しています。



平成25年度より
年4回発行





1-6 ASO国際交流事業

平成26年度より、熊本市国際交流会館と連携し「ASO国際交流事業」をスタートさせました。

この事業は、留学生に阿蘇で様々な体験をしてもらい、阿蘇の魅力をSNSや口コミを通じて母国の家族、友人、知人に紹介してもらうことを目的としています。

当事業の一環として、留学生を対象とした地域散策イベントを定期的に行っており、地域住民との交流促進にもつながると好評を得ています。



婦人会手作りの昼食



地域住民との田植え体験



地域散策の様子

1-7 熊本地震語り部事業



平成28年4月に発生した熊本地震の経験を語り継ぎ、各地の防災につなげていくことを目的として平成28年7月より「熊本地震語り部事業」をスタートしました。

地域住民が語り部となり、行政の視察や企業・学校研修などの受け入れを行っています。

【 参加団体数 88 / 参加者数 2,426名 (R1.9現在) 】



語り部講演スタイル



語り部ガイドスタイル



1-8 ASO周遊推進支援事業

平成27年度より、「ASO周遊推進支援事業」としてサイクリストの周遊をサポートする取り組みを行っています。

事業内「バイクラック設置事業」では、希望するサテライトや協力店舗へのバイクラック設置を行っています。

平成28年度より開始した「とことん満喫！阿蘇サイクリング事業」では、無料駐車場の提供や道の駅阿蘇および協力店舗で各種おもてなしを行うサービスを実施しています。

また、平成30年度より特典付き企画「阿蘇ポタ」(ポタリング)も実施中です。

【 協力店参加店舗数 29 ／参加者数 792名 (R1.8現在) 】



サドルラックの設置

サドルラック設置箇所・台数

	設置箇所	設置台数
H27	13	22
H29	16	17
合計	29	39



阿蘇ポタ(ポタリング)



1-9 牧野ガイド事業

平成30年12月より、阿蘇地域の貴重な地域資源である草原(牧野)を有効活用することで草原の魅力や価値、草原維持の必要性を伝えていく取組みを行っています。

現在は認定ガイドが「草原トレイルウォーク」と「草原トレイルラン」、「草原ライド(MTB)」の3つのプログラムを提供しています。

観光では通常立ち入ることのできないエリアをフィールドとして活用するため、非日常的な体験を楽しむことができます。

【 参加者数 230名 (R1.11現在) 】



草原トレイルウォーク



草原ライド(MTB)

展示販売の主な取り組み



展示販売の目的は、阿蘇の特産品の情報発信を通じて地域経済の活性化に貢献することです。
現在、約400の個人・団体・企業から商品が出展されています。

2-1 出展者研究会



2-2 新製品の開発



2-3 地元高校生との取り組み



2-4 阿蘇プレミアムコーナー 阿蘇特産品コンシェルジュ



2-5 EC事業(通信販売)



2-1 出展者研究会



平成27年度より、阿蘇の特産品の開発を促進させるため出展者が組織する研究会をサポートする事業を開始しました。それぞれの研究会で勉強会の開催、コンテストへの応募、加工品開発等に取り組んでいます。

米・食味88研究会

あか牛研究会

ひまわり(野菜作り研究会)

阿蘇産柿研究会

阿蘇産グリーンシナモン
研究会

ライスイノベーション
研究会

阿蘇ブランディング
研究会

●「米・食味88研究会」

平成30年度「第20回 米・食味分析鑑定コンクール国際大会」に出品した中山北斗さんのお米（品種：ぴかまる）が大会最高位の「国際総合部門」で金賞を受賞しました。



米・食味88研究会



新商品開発打ち合わせ



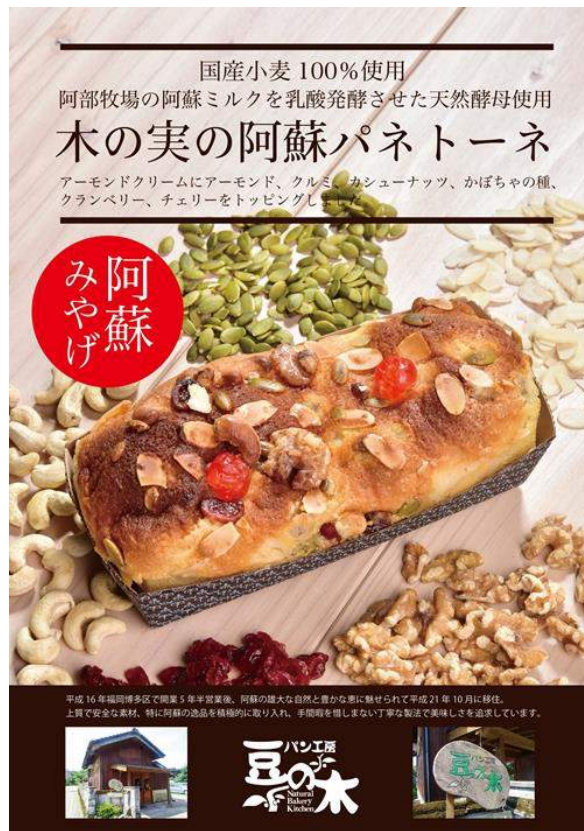
2-2 新製品の開発



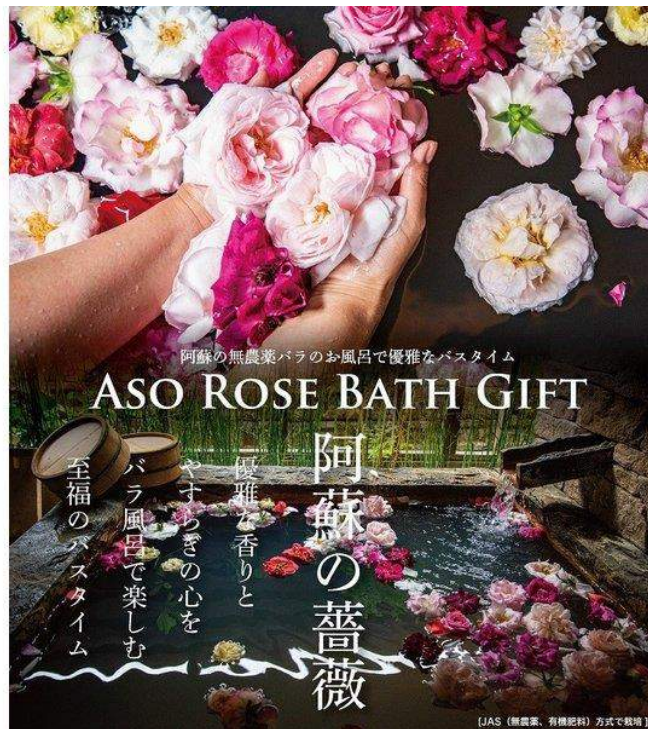
資金、技術、販売面で新製品の開発援助を行っています。
開発された新製品は道の駅阿蘇の人気商品となることも多く、
成功事例は出展者へ報告し、他の商品の向上につなげています。



阿蘇ミルクチーズプリン



木の実の阿蘇パネトーネ



阿蘇ローズバスギフト



ブルーベリーヨーグルトパフェ



2-3 地元高校生との取り組み

平成25年度より熊本県立阿蘇中央高校と連携し、高校生があか牛や地元食材を使ったレシピを発案・プロデュースして出展者が商品化するという「あか牛プロデュース」事業を行っています。この取り組みは、高校の取り組みを生産者の商品開発へとつなげるだけでなく、阿蘇の草原再生およびあか牛の消費拡大にもつながっています。

そのほか、農業科の学生が作った農作物や加工品のPR販売も定期的に行っています。



平成25年～令和元年8月現在
販売総数 47,095個
あか牛肉使用量 2,628kg



阿蘇あか牛肉めしの素



あか牛ビビンバ丼



あか牛と季節野菜の天ぷら

2-4 阿蘇プレミアムコーナー・阿蘇特産品コンシェルジュ



平成27年7月18日、道の駅阿蘇館内に「阿蘇プレミアムコーナー」が誕生しました。

このコーナーでは、阿蘇市で作られた特産品の中でも国内外のコンクール等で高い評価を受けたものや、阿蘇にこだわってできた新製品などの細やかな情報を「阿蘇特産品コンシェルジュ」が試食を提供しながらご紹介します。

阿蘇の“食”をお楽しみいただけるコーナーです。



阿蘇プレミアムコーナー



阿蘇特産品コンシェルジュ

2-5 EC事業(通信販売)



平成26年11月より、阿蘇の特産品のさらなる情報発信のためEC事業（通信販売）をスタートさせ、Yahoo!ショッピング(道の駅阿蘇ネットショップ)とFax受注を中心に展開しています。

平成28年に発生した熊本地震以降、「阿蘇復興応援特産品セット」を販売し阿蘇地域の復興に貢献できる様取り組んできました。

現在も阿蘇市内の生産者と連携した特産品セットや各種商品を販売しています。



総合案内所での観光案内と情報発信



道の駅に来館する多くの観光客に向けて専門スタッフが常駐で観光案内を行っています。
外国人観光客にも英語、中国語、フランス語での対応が可能です。また、webを使った情報発信や
大学生のインターン受入れなども積極的に行っています。

3-1 JNTO認定案内所



3-2 手ぶら観光



3-3 webを使った情報発信



3-4 阿蘇ユネスコジオパーク
世界農業遺産 PR



3-5 観光マップの製作



3-6 インターン受入れ



3-7 海外の大学との連携



3-8 移住定住コンシェルジュ





3-1 JNTO認定案内所

道の駅阿蘇・ASO田園空間博物館総合案内所は、平成27年3月31日にJNTO(日本政府観光局)より「外国人案内所 カテゴリー2」に認定されました。

当法人は設立後より観光案内所常駐スタッフを置き、日本語、英語にて観光案内を行って来ました。現在は中国語、フランス語も加え4ヶ国語で対応しています。

《外国人案内所とは？》

JNTOでは観光庁が策定した指針に基づき、外国人案内所認定制度を運用しています。そして認定された案内所間の情報交換・共有化を進め、電話通訳サービスなど支援サポートを実施するとともに外国語ウェブサイトや海外事務所を通じて外国人旅行者による利用の促進を図っています。
(認定カテゴリーは1～3まで)

カテゴリー3	常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。Wi-Fi あり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。
カテゴリー2	少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供。
カテゴリー1	常駐でなくとも何らかの方法で英語対応可能。地域の案内を提供。
パートナー施設	観光案内を専業としない施設であっても、外国人旅行者を積極的に受け入れる意欲があり、公平・中立な立場で地域の案内を提供。



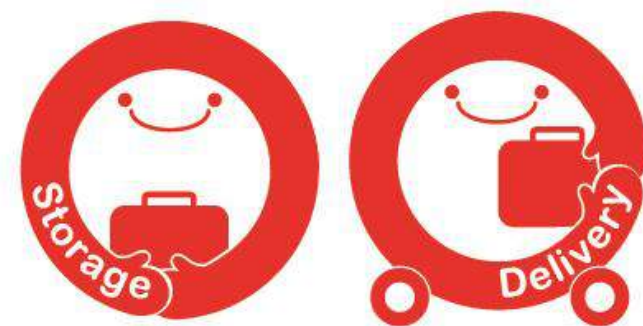
3-2 手ぶら観光(Hands-Free Travel)



平成28年11月より、国交省が推進する「手ぶら観光」の認定カウンターとして登録されています。

【手ぶら観光とは】

訪日外国人旅行者が鉄道等で大きな荷物を持ち運ぶ不便を解消するため、空港・駅・商業施設等で荷物の一時預かり、空港・駅・ホテル・海外の自宅等へ荷物を配送すること。



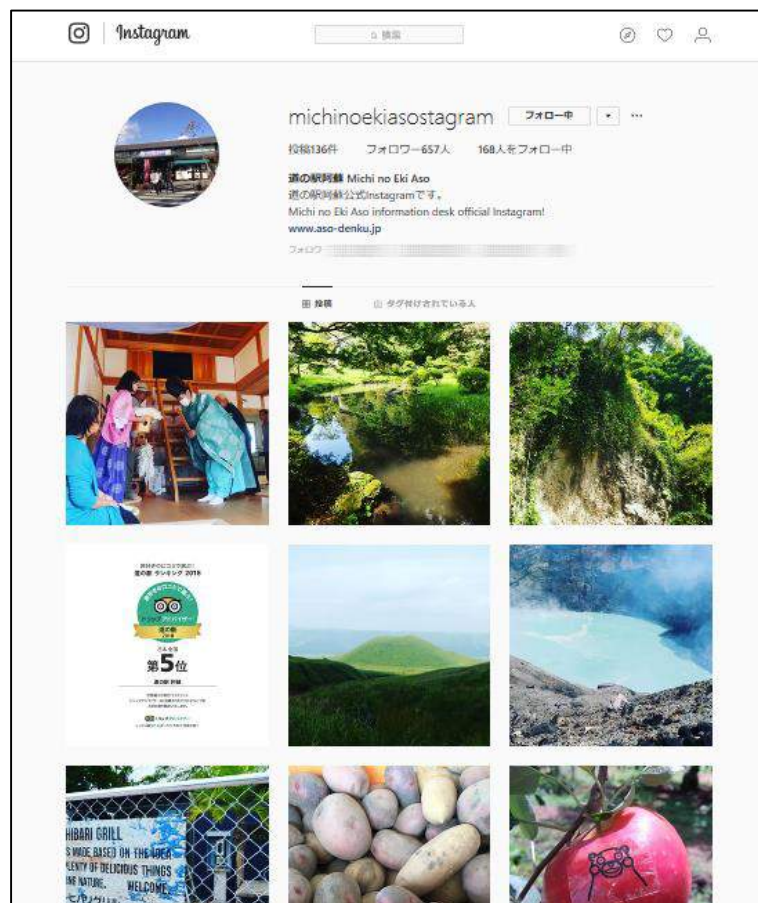
Hands-Free Travel

3-3 Webを使った情報発信



「道の駅阿蘇」ホームページでの情報発信に加え、ブログやSNSを活用した情報発信にも積極的に取り組んでいます。

特に平成28年4月の熊本地震以降は、阿蘇地域の道路情報や利用可能な温泉、飲食店の情報などを震災直後から発信し、多くの方より反響を頂きました。



3-2 Webを使った情報発信

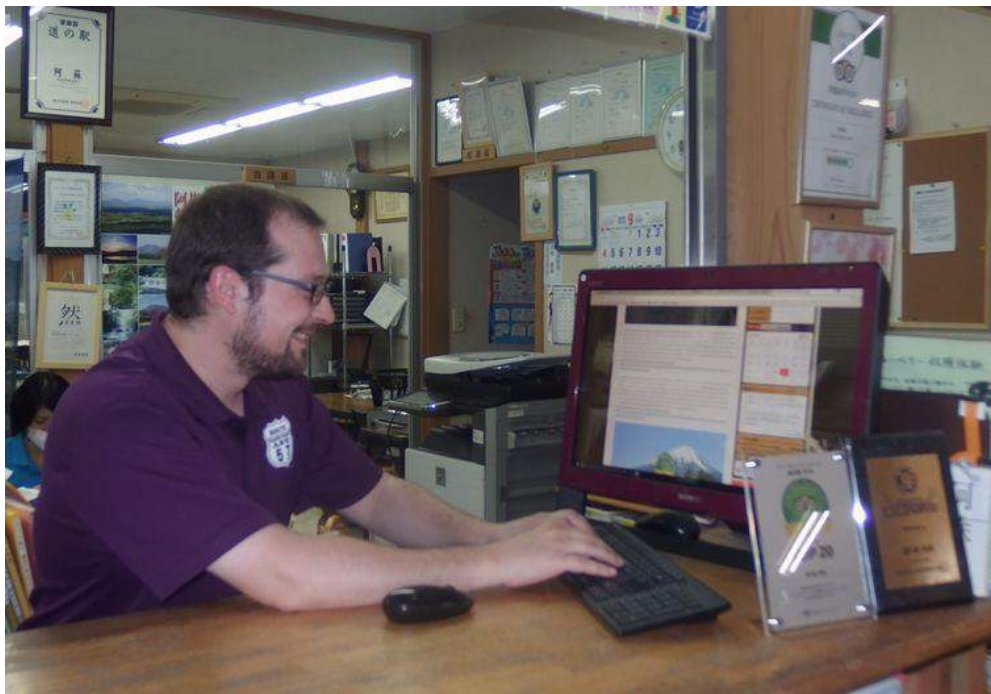


日本語での情報発信のほか、海外に向けて英語とフランス語でのブログやFacebook、Twitter、Instagramを運用しています。

この取り組みの効果として、道の駅阿蘇の外国人来館者数(観光案内窓口問合せ人数)国別ランキングでは、フランスなど欧州が上位になっています。

訪日外国人客 国別ランキング2018

	全国 JNTO資料	九州 JNTO資料	道の駅阿蘇 独自調査(窓口問合せ人数)
1位	中国	韓国	中国
2位	台湾	香港	台湾
3位	韓国	台湾	香港
4位	香港	中国	フランス
5位	アメリカ	タイ	ドイツ
6位	タイ	アメリカ	オランダ
7位	オーストラリア	シンガポール	韓国
8位	フランス	フランス	アメリカ
9位	シンガポール	フィリピン	イギリス
10位	インドネシア	オーストラリア	オーストラリア



3-4 阿蘇ユネスコジオパーク・世界農業遺産のPR

阿蘇地域で取り組んでいる「世界農業遺産」や「阿蘇ユネスコジオパーク」のPRを行っています。

「世界農業遺産」は平成25年5月に認定、「阿蘇ユネスコジオパーク」は平成26年9月に登録されました。



看板等によるPR

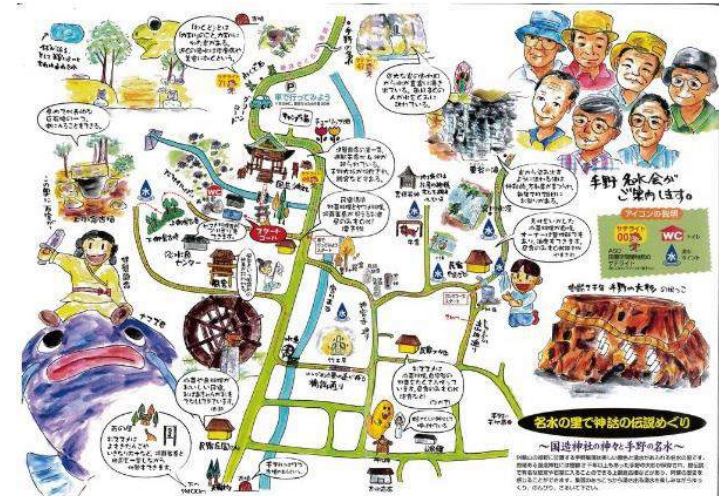


ジオパークブランド認定商品の販売

3-5 観光マップの製作



観光パンフレット設置のほか、道の駅阿蘇周辺地図などを独自に製作することで観光客の旅をサポートしています。



地域散策マップ（当法人製作）



日本語版と英語版道の駅阿蘇周辺マップ（当法人製作）



3-6 インターン受入れ



「道の駅連絡会」を通じて全国の大学からインターンの受入れを行っています。

インターンは道の駅阿蘇展示販売業務や案内窓口業務、阿蘇市の地域振興活動に従事していただき、当法人の取り組みに対する理解を深めてもらうことに加え、阿蘇の情報発信事業でも活躍していただいております。



出展者への取材



成果発表



野焼き見学ツアー添乗



3-7 海外の大学との連携

国際交流と海外への阿蘇の魅力の情報発信を目的として、平成28年度より「阿蘇ー台湾国際学生交流事業」をスタートしました。

台湾の私立大学 淡江(たんかん)大学と連携し、毎年数名の学生インターンの受入れを行っています。

受入れ期間中は道の駅阿蘇のほか阿蘇市内の観光施設や宿泊施設などでも職場体験を行い、様々な体験を通じて阿蘇地域への理解、関心を深め、阿蘇のPRにつなげています。



手野地区散策イベント添乗



観光案内実習

3-8 移住定住コンシェルジュ



阿蘇市への移住定住を促進するため、平成28年4月より相談窓口スタッフである「移住定住コンシェルジュ」が移住定住希望者の相談に応じています。

また、阿蘇市と連携した情報提供や地域外でのPR活動も積極的に行っています。



大阪梅田駅でのPR活動の様子

4-1 施設管理（景観の維持）



道の駅で快適な休息時間を過ごして頂くため、施設の管理・美化を徹底しています。

雄大な阿蘇の自然を当館でも感じて頂けるよう、道の駅駐車場内の植栽を充実させています。

地元老人会と協力することで地域と密着した道の駅づくりにも取り組んでいます。



館内休息室



老人会の清掃作業風景

4-2 施設管理（設備の充実）



お客様により満足して頂くため、無料で利用できる設備の設置や
冬季イルミネーションサービスも行っています。



道の駅外観



冬季イルミネーション



電気自動車・電気バイク充電設備



AED設置



トイレ内子供用設備



24時間無料給水場

4-2 施設管理（設備の充実）



バイク専用駐輪場



駐輪場



無料電源供給設備



バイクラック

4-3 施設管理（災害に備えて）



地震や水害などの災害時に対処するための備品を備えています。
また、災害時には支援物資の提供も行っています。



災害ベンダー



カセットボンベ発電機



炊き出しステーション



館内プロジェクターでの道路情報提供



非常食・防災グッズの販売・備蓄



H24年の豪雨災害、H28年の熊本地震では、
支援物資の配布も行いました。

蘇阿驛の道

